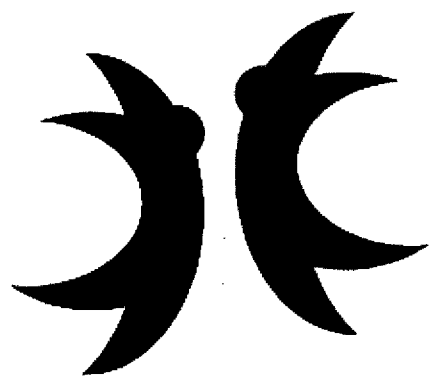


北杜市における日常生活圏域

ニーズ調査の活用について



北杜市介護支援課
唐木 美代子

地域包括ケアの推進にむけて

はじめに

第5期介護保険事業計画「地域包括ケア」推進にあたり、地域に居住する高齢者、その家族の課題を把握するための「日常生活圏域ニーズ調査」をモデル事業として実施することになった。

期間は平成22年4月～6月の3ヶ月間。

調査票については厚生労働省から提示された83問のほか、市独自の設問12問を追加して実施した。

調査方法については郵送と未返送者には訪問し聞き取り調査を行った。

ニーズ調査の集計・分析をもとに今までの事業の検証と23年度事業にどのように反映させるか検討した経過について今回報告する。

北杜市の概要

山梨県北部に位置

(八ヶ岳南麓地域、釜無川流域地域)

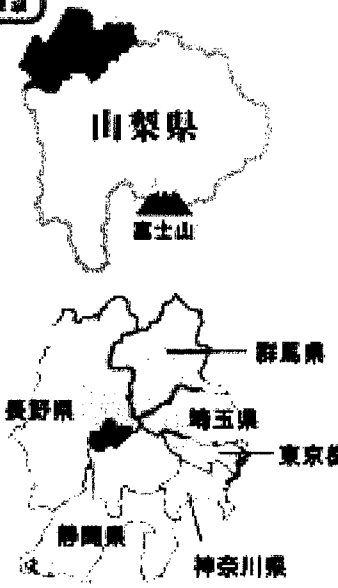
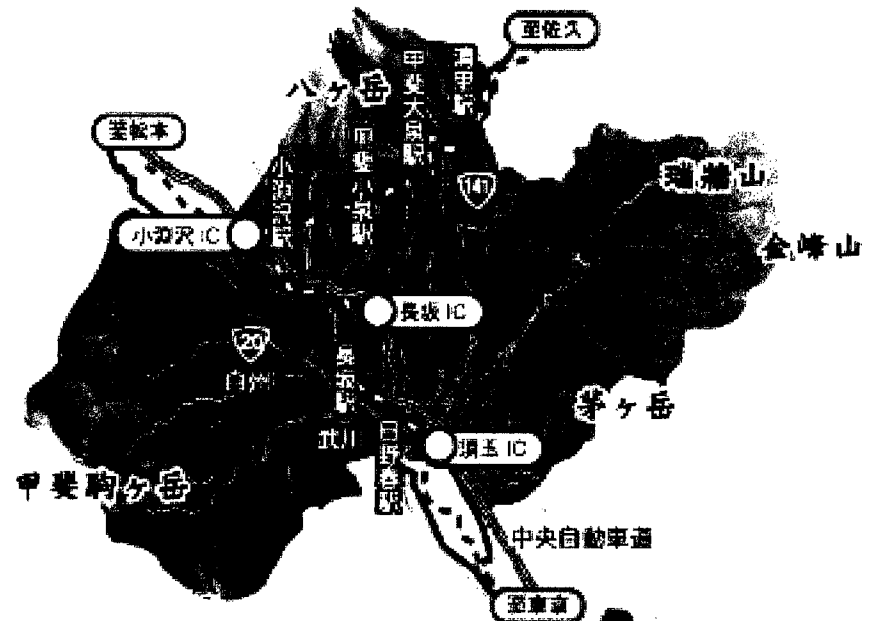
H16年 明野、須玉、高根、
長坂、大泉、白州、
武川の7町村が合併

H18年 小淵沢町が合併
⇒北杜市が誕生

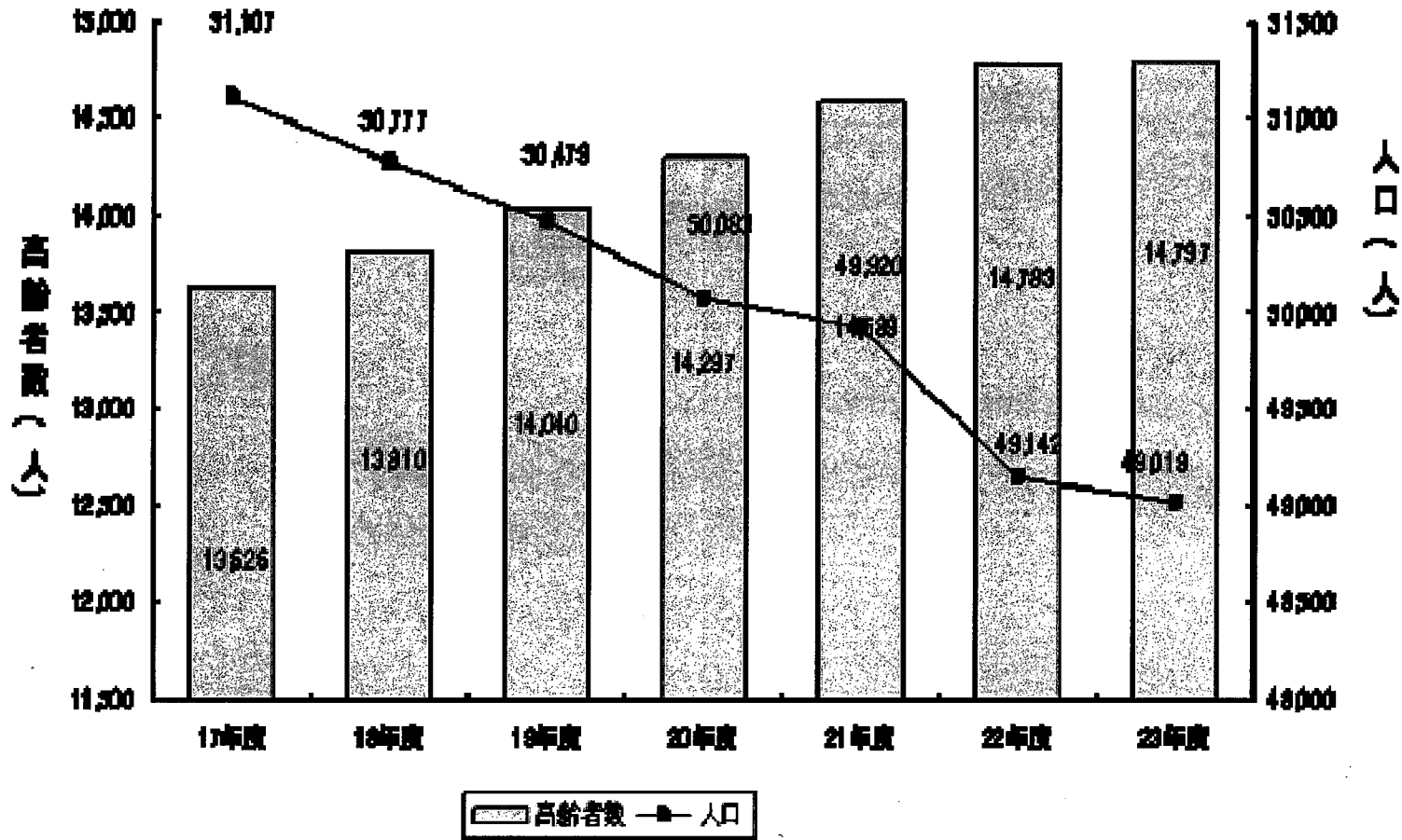
現在 8町の体制

人口 約4万9千人

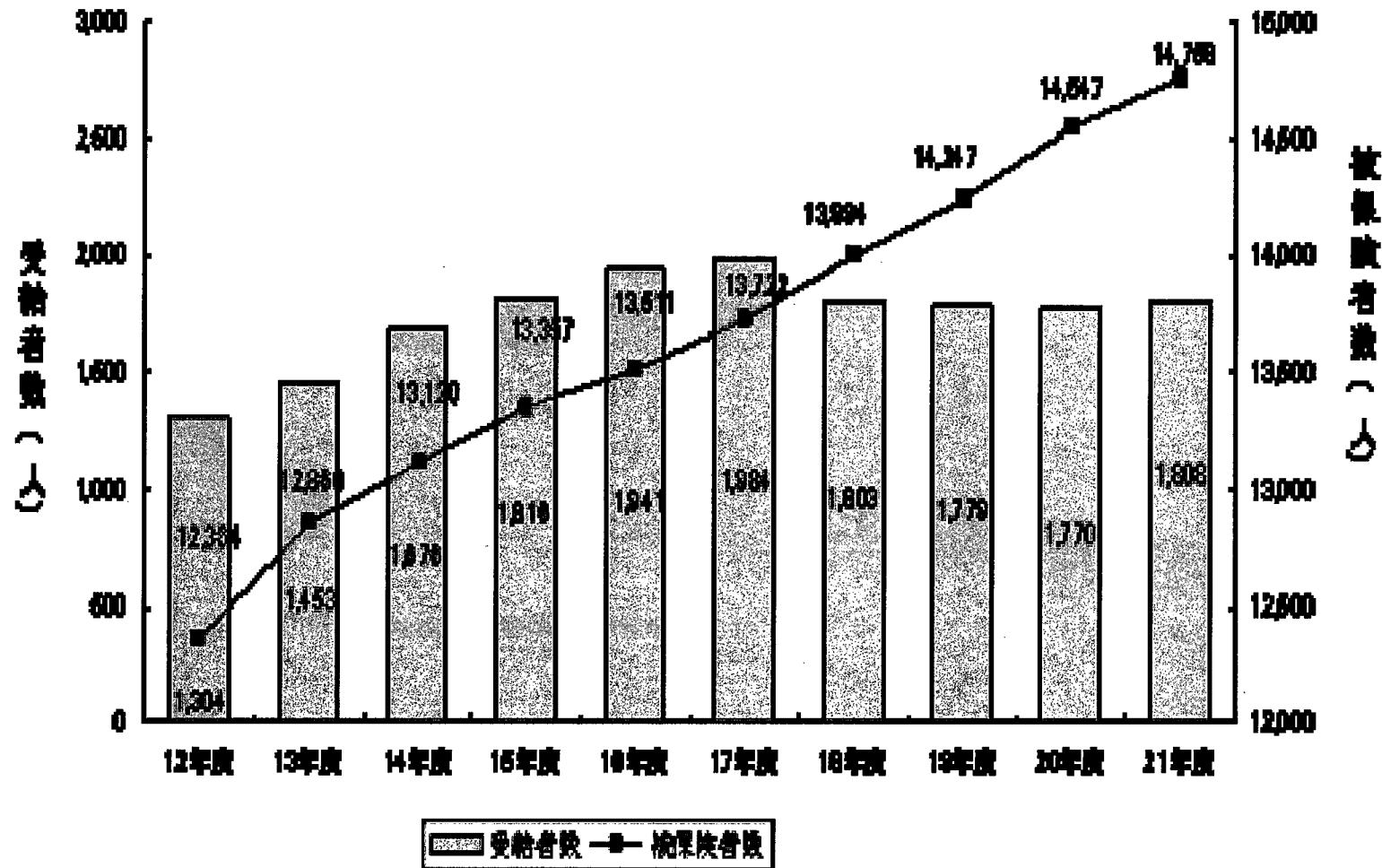
高齢化率 30.1%
(H23. 4. 1現在)



北杜市の人口・高齢化率



被保険者数と受給者数



要介護認定者数の推移

	要支 援1	要支 援2	要支 援 合計	経過的 要介護	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5	要介護 合計	総計
平成18年 4月	16	28	44	290	553	337	303	250	194	1,927	1,971
平成19年 3月	152	256	408	0	204	387	348	261	195	1,395	1,803
平成20年 3月	106	260	366	0	206	373	372	265	197	1,413	1,779
平成21年 3月	101	255	356	0	225	378	412	233	166	1,414	1,770
平成22年 3月	142	252	394	0	282	338	334	261	199	1,414	1,808
平成23年 3月	130	257	387	0	236	372	351	278	210	1,447	1,834

給付費の状況・保険料

	給付費	受給者数	一人あたり給付費額
平成 18 年度	28.09 億円	1,803 人	1,557,958 円
平成 21 年度	30.88 億円	1,808 人	1,707,964 円
	9.9% ↑	0.2% ↑	9.6% ↑

- ※ 高齢者人口増加とともに被保険者数は毎年度増加している一方で、受給者数はこの 4 年間でほぼ横ばいに推移している。
- ※ 給付費実績は、平成 18 年度に比べ、平成 21 年度は 9.9% 伸びている。
- ※ 受給者は、ほぼ一定で推移しているため、一人当たりの利用金額が伸びている。

北杜市の保険料

第 1 次北杜市基準介護保険料額 月額 3,170 円 / 年額 38,040 円

第 2 次北杜市基準介護保険料額 月額 3,595 円 / 年額 43,140 円

北杜市地域包括支援センター

- ・ **直営1ヶ所**

(市役所 市民部 介護支援課内)

- ・ **3職種 11名体制**

(保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士)

- ・ **地区担当制**

総合相談、予防プラン...など



ニーズ調査への取り組みと経過 -1-

- 平成20年度から基本チェックリストを総合検診案内とともに1号被保険者全員に送付、回収していたが返送されない高齢者の相談も多いことから平成20, 21年の2年間返送してこない1, 678人の高齢者への実態調査訪問を計画・実施
- 地域の高齢者の生活実態の把握と課題、23年度事業への活用のため平成22年度の「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」と市で計画した実態調査(ニーズ調査票を活用)への取り組みを実施
- ニーズ調査票は提示された83問に市独自の設問12問を追加
- 調査方法は郵送・臨時職員の聞き取り・地区担当保健師による聞き取りとした

ニーズ調査への取り組みと経過 -2-

- 調査結果は集計ソフトを利用(385人)
- 市独自で集計(588人)———表1



- 全国平均との比較表の作成———表2
- 市の特徴をまとめる
- 課題と解決策を検討———表3
- 地域支援事業への反映
- 新事業の検討
- 個人結果票を活用した相談、指導
(地区公民館での予防教室等)

二一ズ調査集計

表1

町名	- 69		70 - 74		75 - 79		80 - 84		85 -		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
明野	3	5	8	7	7	5	1	13	3	19	22	49	71
須玉	2	3	5	8	6	9	17	17	5	21	35	58	93
高根	2	3	6	12	9	14	9	7	5	16	31	52	83
長坂	6	6	11	5	14	19	7	17	2	12	40	59	99
大泉	3	3	5	8	9	10	5	5	2	4	24	30	54
小淵沢	3	3	5	6	10	14	6	9	4	12	28	44	72
武川	1	3	2	4	8	4	2	7	2	10	15	28	43
白州	2	5	2	5	7	10	6	11	5	20	22	51	73
計	22	31	44	55	70	85	53	86	28	114	217	371	
	53		99		155		139		142				588
比率	9%		17%		26%		24%		24%				

全国平均との比較(北杜市の特徴 1) 表2

	比 較	考 察
家族構成	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしが全国14%に対して22%と高い(1.5倍) 特に80歳以上の女性の一人暮らしの割合が高い(全国で4、5人に1人北杜市2人に1人) 	<ul style="list-style-type: none"> 地元には若い人の働き口がなく甲府などに出て行き、夫と死別した方?
同居人	<ul style="list-style-type: none"> 家族と同居していても意外にも5人以上で暮らしている方は少なく(平均の2/3)二人暮らしの割合が高い。 老夫婦の二人暮らしかは不明 	<ul style="list-style-type: none"> 将来は女性の一人暮らしが増える?
介護必要?	<ul style="list-style-type: none"> 介護・介助の必要はない、と答えた方の割合が高く、特に80歳以上の方での割合は全国に対して1.5~2倍と高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 農家は元気な方が多いのか? 元気な方を選定してしまったのか?
病気	<ul style="list-style-type: none"> 筋骨格系との回答が全国の1.5倍と高い 	
外出	<ul style="list-style-type: none"> 外出していない方が全国より1.5倍多い 	<ul style="list-style-type: none"> 畑には行くが外出はしない?
買い物の頻度	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の方が全国の2倍の半数を超えている 	<ul style="list-style-type: none"> 週末家族が来たら車に乗せてもらい買い物という方が多い
散歩の頻度	<ul style="list-style-type: none"> 「ほぼ毎日」と逆に「週1日未満」の割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 畑に毎日出かけていたが足腰の痛みで全く出なくなってしまう?
通院の頻度	<ul style="list-style-type: none"> 半数を超える方が月1回通院している 	<ul style="list-style-type: none"> 受診や薬をもらいに月1回通院している方が多い

全国平均との比較(北杜市の特徴 2)

表2

趣味の頻度	・ 趣味で外出される方が極端に少ない	
移動手段	・ 自転車の利用が極端に少なく、車に乗せてもらう方が多い	・ 山坂があり自転車には向かない
地域活動	・ 自治会・老人クラブへの参加比率が低い	・ 高齢化により会の活動が縮小している地域も多い
BMI	・ 「肥満」の割合が低く「やせ」の割合が高い	
閉じこもり	・ 5割増	
治療中の病気	・ 脳卒中の割合が2倍 ・ 筋骨格系との回答が高い 特に男性が2倍	
希望サービス 具体的に	・ 希望した方は16% ・ ひざ痛予防教室、市内循環バスがベスト2	・ デマンドバスの登録代行も行った
将来の生活	・ このまま自宅で、との方が8割を占める	

日常生活圏域ニーズ調査から考えられる北杜市の課題と解決策

結果から見えるもの	考えられる解決策・事業など
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし、二人暮らしが多い (80歳代女性の3人に1人が一人暮らし) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動として話し相手、家事手伝い、お茶飲みボランティアの普及や地域の活動のさらなる育成 ・前期高齢者の人たちの活動の場を広げ、そのままの地域のつながりが後期高齢者にもつながるようになればよい(支援ボランティアの活動の場を介護施設以外にも広げられるといいかも) ・宅配食事サービスの立ち上げや普及、介助付買い物ツアーの新設 ・介護保険内外の制度やサービスと地域包括支援センター等の情報の周知 ・インターネットの見直し(市役所のホームページを分かりやすく使いやすいものに)
<ul style="list-style-type: none"> ・膝・腰痛の人が多 い(農作業などが影 響) ・運動をしている人 が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動教室の開催 <ol style="list-style-type: none"> 1)歩いていける場所での開催、年間通じての開催、いつでもタイムリーに参加可能にする 2)デマンドバスを利用した教室の開催 ・農作業を運動と考えている方も多いため、健康情報を正しく伝達する機会をつくる ・早い時期(50～60代)からの健康教育での体操の普及(健康増進課とも協力して周知してはどうか) ・北杜〇〇体操をつくり広める(テレビやチラシ等を使い気運づくりをする)